

特産品（そば）の知名度向上等によるブランド化

【令和3年度補正】

高品質な「そば」の高収益化（特産品を高付加価値化した事例）

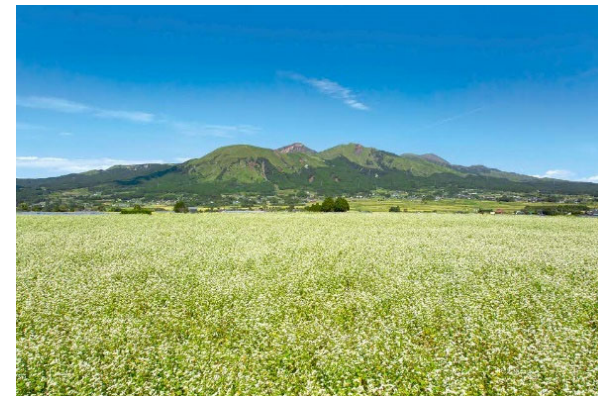
中山間地域所得確保推進事業

地区概要

【地区名】 全域地区（熊本県南阿蘇村）

【現況】

- ・全国的なそばの豊作や新型コロナウイルスの感染拡大による外食需要の低下により単価が下落。
- ・立地条件を活かして高品質なそばが生産されているが市場に認識されていないためPR（情報発信）し、ブランド化が必要。



①そばの情報発信

パンフレットを作成やインターネットにより情報発信

②観光事業者との連携

村内の飲食店等へのそば粉の供給や新そばフェア等を実施

③有機栽培によるブランド化

大学と連携して有機栽培技術を確認し、有機栽培を推進

④販売ルートの多様化

ECサイトによる玄そば等の販売や加工による高付加価値化



①作成されたパンフレット



②村内の飲食店の様子



③大学と連携した調査の様子

取組の成果

令和5年度のそばの販売額は17,822千円となっており、現況値の4,500千円から販売額が大幅に増加（296%増）している。

現況値(R3)	目標値(R5)	実績値(R5)
4,500千円	4,950千円	17,822千円